

## 「敬老の日」「老人の日」「老人週間」

「敬老の日」 9月第3月曜日 9月15日

「老人の日」 9月15日

「老人週間」 9月15日～9月21日



### 「敬老の日」 9月15日の全国紙の記事について

「国民こぞって祝い、感謝し、又は記念する日」が国民の祝日なのですが、朝毎読の全国三紙で見るかぎり、9月15日の朝刊で「敬老の日」であることがわかる扱いをしているのは、1紙もありません。

「敬老の日」が「見出し」にないからです。『朝日新聞』は、1面のトップが「社福法人に天下り239人」（4段見出し）で次が「山口淑子さん死去」、そして「75歳以上8人に1人」（3段見出し）で「総務省人口推計」（小見出し）です。『毎日新聞』は、1面のトップが「イスラム国 国家並み統治組織」（4段見出し）、そして「高齢者人口25.9%」（横見出し）で「過去最高更新3296万人」（小見出し）です。『読売新聞』は、1面のトップが「ママ世代74%労働力に」（4段見出し）、そして「8人に1人 75歳以上」（横見出し）で「65歳以上3296万人」（小見出し）です。

どれも1面での扱いではあるのですが、記事内容は「敬老の日」にあわせて総務省が発表した「高齢者人口の推計値」をまとめたもの。昨年は『毎日新聞』が1面トップに、『読売新聞』は社説と「シルバーシート」関連の記事が、『朝日新聞』は3面でしたが「きょう「敬老の日」」の小見出しを立てていましたから、各紙とも今年の扱いは後退しています。

4人の1人、3296万人に達した高齢者に対する現役世代の関心と認識の欠如を示しています。

当日、全国紙を開いた高齢者のみなさんは、いかに国民こぞって祝われていない祝日であるかを知ることになります。逆に地方紙は元気な100歳の個人の紹介や首長の訪問や子どもたちとの交流など、「敬老の日」の新聞であることの記事を競っているようです。来年は全国紙にこんな扱いを許さない存在感を示さねばならないでしょう。（堀内正範）

### 「敬老の日」「老人の日」「老人週間」の経緯

「敬老の日」は「国民こぞって祝い、感謝し、又は記念する日」を定めた「国民の祝日に関する法律」（昭和23年7月20日、最終改正は平成17年5月20日）の2条

「敬老の日 九月の第三月曜日 多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う。」による。

昭和22年(1947年)に兵庫県多可郡野間谷村(現:多可町)で行われた敬老行事「としよりの日」がきっかけとなり、昭和25年(1950年)、9月15日を「としよりの日」としようとする敬老・福祉の兵庫県県民運動が開始されました。

昭和26年(1951年)、中央社会福祉協議会(現:全社協)が全国運動を提唱。9月15日から21日までの1週間を運動週間として、「老人を敬い慰め、励ますとともに、老人福祉に対する国民的理解を促進し、老人自身もまたその立場を自覚し、新しい社会建設に参加する」ことをうたって様々な活動が推進されました。

「としよりの日」は昭和39年(1964年)に「**老人の日**」と改称され、昭和41年(1966年)に国民の祝日「**敬老の日**」へと発展しました。そして、平成13年(2001年)の老人福祉法の改正により、9月15日が「老人の日」、同月21日までの1週間が「**老人週間**」と定められました。その後、「国民の祝日に関する法律」の改正により、平成15年(2003年)からは「敬老の日」が9月の第3月曜日となりました。

## 敬老の日 読書のすすめ 読書推進運動協議会 (2014・9)

Tel 03-3260-3071 / Fax 03-5229-1560 info@dokusyo.or.jp

「敬老の日読書のすすめ」は、「心ゆたかに生涯読書」を目標に、中・高年の方々に読書を楽しんでいただくために進めている運動です。

毎年各都道府県の読進協より、「敬老の日に薦める本」を3点推薦してもらい、それをもとに読書推進運動協議会の事業委員会で24~26点の書目を選定、リーフレットを制作し、全国の公共図書館・書店などに配布しています。

### 2014敬老の日読書のすすめ 掲載図書一覧

著者名	書名	出版社名
和田 竜	村上海賊の娘(上・下)	<a href="#">新潮社</a>
朝井まかて	恋歌	<a href="#">講談社</a>
三浦しをん	政と源	<a href="#">集英社</a>
堺屋太一	団塊の秋	<a href="#">祥伝社</a>
佐川光晴	鉄童の旅	<a href="#">実業之日本社</a>
久坂部 羊	悪医	<a href="#">朝日新聞出版</a>
永 六輔	大晩年	<a href="#">中央公論新社</a>
やなせたかし	アンパンマンの遺書	<a href="#">岩波書店</a>

坂東眞理子	60歳からしておきたいこと	<a href="#">世界文化社</a>
三浦雄一郎 三浦豪太	「年寄り半日仕事」のすすめ	<a href="#">廣済堂出版</a>
小川有里	加齢なる日々	<a href="#">毎日新聞社</a>
都築響一	独居老人スタイル	<a href="#">筑摩書房</a>
宮崎秀吉	103歳 世界最速のおじいちゃんスプリンター	<a href="#">日本文芸社</a>
上中別府チエ	83歳の女子高生球児	<a href="#">主婦の友社</a>
紫竹昭葉	87歳。紫竹おばあちゃん幸せの花園	<a href="#">海竜社</a>
伊藤比呂美	父の生きる	<a href="#">光文社</a>
徳永 進	わたしだって看取れる	<a href="#">ベストセラーズ</a>
鎌田 實	大・大往生	<a href="#">小学館</a>
佐々木健一	辞書になった男	<a href="#">文藝春秋</a>
村岡花子	曲り角のその先に	<a href="#">河出書房新社</a>
中村メイコ	メイコの食卓	<a href="#">KADOKAWA</a>
小山靖史	緒方貞子 戦争が終わらないこの世界で	<a href="#">NHK 出版</a>
小和田哲男	戦国史を歩んだ道	<a href="#">ミネルヴァ書房</a>
福嶋 聡	紙の本は、滅びない	<a href="#">ポプラ社</a>

\*\*\*\*\*

## 「老人の日」「老人週間」

のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを

### ◎全国老人クラブ連合会（全老連）

Japan Federation of Senior Citizens Clubs.

公益財団法人 全国老人クラブ連合会

東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5階 TEL : 03-3581-5658

現在、全国に11万クラブ、670万人の会員がいます。

・平成26年「老人の日・老人週間」キャンペーン要綱

---

## 標語

### 「みんなで築こう 安心と活力ある健康長寿社会」

我が国は世界でも有数の長寿国となって久しく、それは命を大切にする国民一人ひとりの努力の賜物です。そして、誰もが健康で、安心して生きがいを持った生活を送ることのできる活力ある長寿社会を築くことが大切になっています。

国においては、平成 24 年に高齢社会対策基本法に基づく「高齢社会対策大綱」を策定し、施策の総合的な推進に努めています。また、できる限り住み慣れた地域で生活できるようにするために、認知症高齢者施策をはじめ、介護を必要とする高齢者やひとり暮らし高齢者等への施策の一層の充実や、医療・介護・福祉の連携促進、介護および生活支援サービスの基盤強化、地域住民による見守りの推進等支援策の強化など、「地域包括ケアシステム」の整備が進められています。

加えて、東日本大震災は我が国に甚大な被害をもたらし、高齢者等の災害弱者への災害時の支援のあり方についても大きな課題となったことから、各地域ごとに、その対応が進められています。

本格的な超高齢社会を迎えた今日、これらの対策をより一層効果的なものにするためには、高齢者自らが高齢期の在り方に関心と理解を深める取り組みを進めていくことが必要です。また、国民一人ひとりが、家庭、地域社会、職場、学校などで高齢者とのかかわりをこれまで以上に深めていくことも重要です。

このような状況をふまえ、老人の日・老人週間を契機として、すべての高齢者が安心して暮らせるまちづくり、高齢者の社会参加・ボランティア活動の促進、高齢者の人権の尊重等、6つの目標を掲げ取り組むことを提唱いたします。

### キャンペーンが目指す 6つの目標

- (1) すべての高齢者が安心して自立した生活ができる、保健・福祉のまちづくりを進め、ふれあいの輪を広げよう。
- (2) 高齢者の知識、経験や能力をいかした、就労・社会参加・ボランティア活動を進めよう。
- (3) 高齢者の介護予防、生きがい・健康づくりへの取り組みを進めよう。
- (4) 高齢者の人権を尊重し、認知症高齢者への支援のあり方や介護問題等をみんなで考え、高齢者や介護者を支える取り組みを積極的に進めよう。

- (5) 高齢社会における家族や地域社会等の役割を理解し、お互いに協力して安心と活力ある長寿社会をつくろう。
- (6) 減災や防災への取り組みに関心を持ち、日頃から地域でのつながりを築こう。

## キャンペーン期間

平成 26 年 9 月 15 日の「老人の日」から 21 日までの「老人週間」の 7 日間  
(この前後の期間にも運動を盛りあげてを提唱いたします。)

## 主唱

内閣府 消防庁 厚生労働省 **全国社会福祉協議会** 全国老人クラブ連合会  
長寿社会開発センター 日本医師会 日本歯科医師会 日本薬剤師会  
日本看護協会 日本社会福祉士会 日本介護福祉士会

## 協賛

NHK 日本新聞協会 日本民間放送連盟

## 「老人クラブ」の活動の目的

(1) 仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、生活を豊かにする楽しい活動を行うとともに その知識や経験を生かして、地域の諸団体と共同し、**地域を豊かにする社会活動**に取り組み明るい長寿社会づくり、保健福祉の向上に努めることを目的とします。

### 会員

入会を希望する高齢者で、概ね 60 歳以上の方を対象としています。準会員や協力会員制度を取り入れ、60 歳未満の方の参加も受け付けているクラブもあります。

### 組織

日常的に声をかけ合い、歩いて集まることのできる小地域の範囲で組織しています。

クラブの規模は、おおむね 30 名から 100 名を標準としています。

会員本意の自主的かつ民主的な運営をしています。

クラブ活動の財源は、会員の会費によってまかなうことを基本とします。

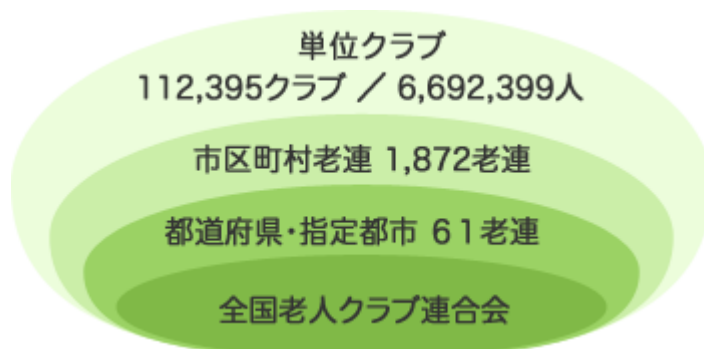
### 国・地方公共団体の支援

高齢者の生きがいや健康づくりの推進に向け、国、地方自治体から支援を受けています。

### 連合会

小地域ごとの老人クラブ(単位クラブ)を核に、市区町村、都道府県・指定都市、全国の段階

に老人クラブ連合会(老連)を組織しています。



.....  
「老人の日・老人週間」(老人福祉法第1章第5条)には、

- ①□国民の間に老人の福祉への関心と理解を深める、
  - ②老人が自らの生活の向上に努める意欲を促す、
- という二つの目的があります。

誰もが健康で安心して生きがいを持った生活を送ることができる活力ある長寿社会を築くために、内閣府、厚生労働省をはじめ、全国老人クラブ連合会を含む福祉・医療関係団体は、毎年「老人の日・老人週間」の全国的なキャンペーンを展開しています。

### 仲間と集い、高齢者の元気な姿を示そう！

老人クラブは、「老人の日・老人週間」の取り組みとして、“仲間と集い、高齢者の元気な姿を示そう！”をスローガンに、「健康」「友愛」「奉仕」の全国三大運動を積極的に展開し、高齢者の意欲と姿勢を地域に示そうと取り組んでいます。

「としよりの日」運動から「敬老の日」そして「老人の日」へ  
9月15日は、老人福祉の記念日(原点)です。

昭和22年

兵庫県野間谷村(現:多可町)で、9月15日に終戦後廃墟のなかで自信を失った高齢者を励まそうと敬老行事が開催される。

昭和25年

兵庫県は9月15日を「としよりの日」に定め、県民運動を展開

昭和26年

中央社会福祉審議会(現:全国社会福祉協議会)は、「第1回「としよりの日」運動」を実施。(9月15日を「としよりの日」、同21日までの1週間を運動習慣として推進。

昭和27年

第2回「としよりの日」運動の行事实施要綱において、「老人クラブづくり」が掲げられる。(運動名称：「としよりの日・としよりの福祉週間」)

昭和38年

老人福祉法公布。「老人の日」が定められる。(運動名称：昭和39年から「老人の日・老人週間」に改称)

昭和41年

「老人の日」が「敬老の日」として国民の祝日となる。(運動名称：「敬老の日・老人福祉週間」に改称。平成5年に「敬老の日・老人保健福祉週間」に改称)

平成13年

老人福祉法改正。9月15日が「老人の日」、同21日までの1週間が「老人週間」に制定される。(14年志向)\*老人クラブに置いて、「老人の日・老人週間」の制定を記念して、推進要綱を策定して全国運動を開始。

平成15年

国民祝日法の改正により、「敬老の日」が9月の第3月曜日となる。

### **地域社会に感謝して、9月20日は全国一斉「社会奉仕の日」**

老人クラブでは、昭和31年より老人週間を契機に地域社会に対する感謝と高齢者の活力を示す全国一斉「社会奉仕の日」に取り組んでいます。

この運動は、昭和59年に神奈川県、横浜市、川崎市老連が「敬老の日」に感謝する取り組みとして行った一斉奉仕活動が各地に波及し、全国運動につながったものです。現在は、“きれいな地球を子どもたちへ”をスローガンに、「花のあるまち、ゴミのないまち」を目指した美化活動、環境活動に取り組んでいます。

### **公益財団法人 全国老人クラブ連合会**

東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5階 TEL : 03-3581-5658